

2023年 新政クラブ 視察報告書

【視察項目】和歌山県有田市 ・二人の未来応援パッケージについて
・デマンドバス交通について

【報告者】本澤栄里子

【訪問日時】令和5年11月8日(水) 午前9時30分時～午前11時00分

【訪問場所】有田市役所

【対応者】(敬称略)

有田市議会副議長	中西登志明
経営企画課長	山本芳則
まちづくり係係長	山原正義
まちづくり係	宮井夢人

【視察目的】

・二人の応援パッケージ Marry You について

有田市は結婚から子育てまでを全体的に支援する「Marry You(マリー ユー)」新しい施策を始めた。社会全体で結婚から子育てまでを切れ目なく支える姿勢。これは館山市の子育て環境の充実と移住定住に繋がるものと考え視察した。

・デマンドバス交通について

有田市では地域住民の移動手段確保のため市内を網羅的に運行するデマンドバスを運行している。館山市のこれからの公共交通の形成に役立てられるものとして視察した。

【有田市の概要（視察地の概要）】

1 特徴：有田市（ありだし）は和歌山県中部に位置する市である。

有田みかん・かとり線香の発祥の地である。熊野古道が市東部を南北に通っている。

全国的に「有田みかん」として知られている柑橘栽培を中心とした農業、タチウオの漁獲量が全国でもトップクラスで、県下有数の漁業基地を抱えた漁業の一次産業が中心。海岸線の埋立地には石油精製工場の臨海工業地帯が広がっている。

2 データ：人口 26,060 人 世帯数 11,703 世帯 面積 36.83 km² 財政力指数 0.45

位置は和歌山県の北西部に位置し、霊場高野山を源として紀伊水道に注ぐ有田川を中心に南北をみかん山に囲まれ、海岸線には漁業基地や臨海工業地帯が形成されている。和歌山市へ 30 km、大阪へ 100 km の位置にある。

【視察内容】二人の応援パッケージ Marry You

1 経緯 令和3年度は、少子化対策、子育て支援策として、これまで以上に踏み込んだ新規事業「Marry You -結婚するなら、有田市で-」を実施。

これは、まちの未来を担う、若い世代を対象とした有田市独自のこれまでにない新しい政策で、結婚し、二人の生活を始めることに対して、積極的に応援し、社会全体で結婚から子育てまで切れ目なく支えていくという強い意志を示したもので、支援金や祝い金の給付、医療費無償化など、縁があり結ばれた二人を、そして家族を応援するための未来応援パッケージとなっている。

この新規事業「Marry You」の取り組みを通じ、人生の節目においての様々な社会環境の変化や身体的不安、経済的不安に地域ぐるみで寄り添い対応し、前向きにサポートすることで、あたたかい共感と支援が生まれ、「結婚するなら、有田市で」という魅力あるまちにつながることをめざしている。

2 Marry You 支援制度

第2期有田市子ども・子育て支援事業計画を策定

平成27年3月に策定した「第1期有田市子ども・子育て支援事業計画」が令和元年度末をもって終了。

第1期の計画が終了することに伴い、第1期計画での成果と課題、子育て支援に関するニーズなどを踏まえ、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とした。

「第2期有田市子ども・子育て支援事業計画」を策定した。

本計画では、「子育ての喜びが人と人を結びつけ 子育て文化を創造するまち、ありだ」の基本理念のもと、妊娠・出産期から切れ目のない多様な子ども・子育てを支えるために、「子どもが様々な力を育み、健やかに育つ環境をつくる」、「誰もが安心して出産・子育てができる環境をつくる」、「子育てを見守り、支え合う地域社会をつくる」の3つの基本目標を掲げ、令和2年度から令和6年度までの5年間に取り組むべき施策をまとめた。今後、本計画に基づき、子ども一人ひとりが大切にされ、健やかに成長することができるよう努めていく。



- ① 有田市では、市内空き家及び空き地の有効活用と、定住促進を図るため、「有田市空き家・空き地バンク」に登録された空き家の購入及び改修、空き地への新築をする場合に、その費用の一部を補助する。

補助メニュー	補助率	上限
空き家 購入	1/2	50万円
※40歳未満の世帯主又は義務教育終了前の子を扶養している世帯は上限100万円		
空き家 改修	2/3	80万円
※40歳未満の世帯主又は義務教育終了前の子を扶養している世帯は上限100万円		
空き地 新築（市内業者施工の場合）	1/20	70万円
※40歳未満の世帯主又は義務教育終了前の子を扶養している世帯は上限120万円		
空き地 新築（市外業者施工の場合）	1/30	50万円
※40歳未満の世帯主又は義務教育終了前の子を扶養している世帯は上限100万円		

資料提供有田市

- ② 結婚新生活支援補助金(新婚世帯の住居に関する経費を支援)
- ・補助対象経費の10/10（上限30万円 / ※夫婦ともに婚姻時29歳以下である場合、上限60万円）
- 結婚祝い贈呈事業(結婚を機にお世話になった方へ感謝の気持ちを、有田市の産品で贈呈)
- ・贈呈カタログから選定1万円までの産品
- ③ スマイルチケット(協賛事業者が提供するサービスをチケットで利用できる)
- ・2万円(妊娠時) ・3万円(出産時)
- 出産支援事業(これからの未来を担う大切な子供の健やかな成長を願い、誕生をお祝い)
- ・10万円(一人目) ・30万円(二人目) ・3人目(50万円)

- ④ 子ども・乳幼児医療費助成事業(令和3年度より高校卒業まで医療費無料)
 - ・医療費無料
- ⑤ 病児保育無料(病気やけがなどで保育所や学校に行けない子どもを有田市立病院において無料でお預かりし、子育てと就労の両立を支援)
 - ・病児保育無料

- ⑥ 小・中学校入学祝金支給事業(小学校・中学校に入学する新たなステージを迎えた子育て世帯を応援)
- ・10万円(有田市に住所を有する方)
- ⑦ 奨学金返還支援助成事業(有田市に住む就業・起業する若者の定住を促進するため、奨学金返還されている方を支援)
- ・12万円(奨学金返還額の1/2)
 - ・20万円(市内事業所へ就業・起業の場合、4年目から返還額の10/10)

結婚するなら有田市で

みかんの花ことばの一つに「花嫁の喜び」があります。毎年、花が咲き、実を結び、果実が成長するよう、「結婚」「妊娠・出産」「子育て」「自立」の各ステージで、まちの希望を担う子ども・若者・子育て世帯に積極的な支援を展開し、定住につなげるとともに、市外から有田市への移住を促進します。

#有田市二人の未来応援 パッケージ

Marry You
[マリー・ユー]

結婚 妊娠・出産 子育て 子どもの自立

【所感】

有田市は「子どもを産むすばらしさを有田市全体でどう応援していくか」という事を徹底的に考えて、結婚から子育てまでを全体的に支援する Marry You を令和3年6月よりスターとした。有田市によると、婚姻届けや出生届けを提出した際、事業の説明を受けて申請するケースが多く、これまでに妊娠・出産時のチケット支援が16件、出産祝が14件、新婚生活のスタートを支援する結婚祝いは5件となっている。また、小中学校の入学祝は、対象者全員が申請しているとのこと。

これだけ充実した内容の Marry You 施策、の資金は有田市に入る「ふるさと納税」から予算を組んでいるとのこと。全国的に有名な有田みかん等で、2021年度に寄付を受けた総額は約48億7千万円。これだけ資金があれば、市民への手厚い支援が多様にできるものと考えられるが、それに加えて積極的に若者たちを応援し、地域への定着を促進している。この取り組みは将来の担い手を育成し、地社会の継続的な発展に寄与している。

館山市も有田市のような柔軟性や先進性を見習い、若い世代や子育て家庭への支援を強化し、地域全体が持続可能な未来に向けて進む手本とすべきである。

【視察内容】有田市デマンドバスについて

1 経緯

有田市では、地域住民の移動手段確保のため、鉄道やタクシーの他、市内を網羅的に運行するデマンドバスなど、快適な移動環境の構築に努めている。

その一方、モータリゼーションや少子高齢化による急速な人口減少、新型コロナウイルス感染症の拡大など、地域公共交通を取り巻く環境は大きく変化しており、地域公共交通を維持するための対応が、急ぎ求められる現状もある。

こうした中、まちづくりと連携した地域公共交通ネットワークの形成や再構築といった、有田市の公共交通のあり方を見直していくとともに、行政、交通事業者、地域住民が連携し、持続可能な交通体系の実現を目指していくため、地域公共交通のマスタープランとして、「有田市地域公共交通計画」を策定した。

2 有田市地域公共交通計画

本計画は「第5次有田市長期総合計画」を上位計画とし、「第2期有田市まち・ひと・しごと総合戦略」「有田市都市計画マスタープラン」「有田市立地適正化計画」等との整合性を図り、本市における地域公共交通の役割や方向性を示す、交通施策のマスタープランに位置づけられる計画である。

(1) デマンドバス

運行概要

有田市では、高齢者をはじめ交通弱者の方が買い物や通院など、生活に必要な外出が問題なくできるよう、行政や交通事業者（中紀バス）が連携し、「有田市デマンドバス」を運行している。また、回数券を販売しており、11枚綴りを10枚分の料金（大人の場合2,000円、それ以外の場合1,000円）で販売している。なお、有田市立病院では運転免許証を返納されている受信患者を対象に、乗車券を配布するサービスを実施している。

有田市デマンドバス



写真提供有田市

料 金

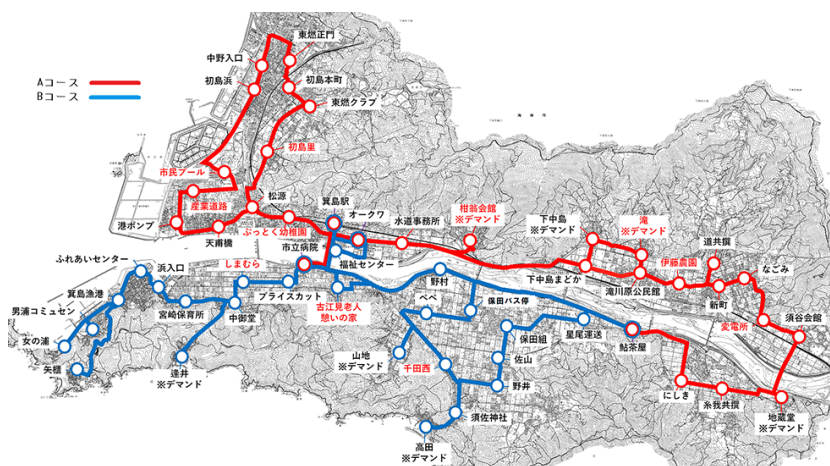
大人（中学生以上）	200 円／1 乗車
小学生、障害者	100 円／1 乗車
高齢者運転免許証返納証明書保持者	100 円／1 乗車
乳幼児	無料

- 距離・区間・通過駅数に関わらず、料金は1回の乗車につき上記の一律料金です。
- 回数券：11枚つづりを10枚の料金で販売

有田市資料

(2)路線紹介

Aルート（山号）、Bルート（海号）の2コースで運行



有田市資料

(3) 利用者数

令和元(2019)年まで1日あたりの利用者数は約2,600~2,800人で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者が大きく減り、令和3年(2021)では1日当たり約2,000人となっている。また、箕島駅での利用者が最も多くなっている。

平成25年度(2013)から徐々に乗車者数は減少傾向にあり、令和3年度(2021)には乗車数が10,000人を下回っている。コース別にみると、Aコースでは平成25年度(2013)と令和3年度(2021)を比較すると乗車数が半減し、Bコースでは、平成27年度(2015)には約9,600人にまで増加していたが、それ以降は減少傾向にある。

(4) 運行経費

デマンドバスにおける支出を見ると、1年につき約18,000千円もの費用が必要となっている。一方、運賃や広告による収入は、年度によって前後するが、1,200~2,100千円である。国や市からデマンドバスに対する補助金を出しているものの、赤字分を完全に補填することは難しい状況である。

(5) 地域公共交通の改善点

デマンドバス利用者、有田市の地域公共交通の改善点について調査したところ、回答者29名中、23名が運行ルートを増やすことを回答した。その他には運行本数の増便、路線のわかりやすさについて回答している方が多く見られた。

3 将来都市像

既存の公共施設と集客力のある公共交通の整備と、これらが連携した公共交通に関する施策を講じることで、コンパクトで便利なまち、子育てしやすいまちを形成していくとしている。

また、公共交通へのアクセス性向上を目指した中心市街地内の幹線道路の整備を進める必要がある。

- ・有田市デマンドバス運行事業
- ・公共交通の利用促進活動
- ・車両関連施設整備等

【所感】

有田市デマンドバス・紀州レンジャーは、有田市内における交通の空白地域を解消するため、箕島駅から住宅地、病院や学校等、市民の生活に必要な場所を中心に運行している。車両は2台である。

有田市の風景と紀州レンジャーが描かれた賑やかな車両が街中を明るくしている。通常のデマンドバスとは異なり、有田市デマンドバスは、毎日決まった路線を時間通りに運行しており、ほぼ予定通りに目的地に到着することができる。

市民生活における買い物や通院などの交通手段として利便性に富み、かつ低運賃でのバス運行はこれからも必要不可欠であり、安心して利用できる公共交通機関の存続と、行政、地域住民、公共交通事業者が一体となって総合的に計画を推進していくことが必要であると感じた。

館山市においても高齢者の多くは運転が難しくなり、移動手段の確保は極めて重要である。また、安全な移動手段を提供することで社会との繋がりも保つことができる。これは館山市にとっても持続可能な環境を作る要素になると考える。

